

広大な都市緑地「茨戸川」の「環状グリーンベルト構想」

さっぽろふるさとの森づくり

「自然生態の復元と創造」先ずこの実践から！



植樹作業 平成21年（2009. 10. 4）



植栽地の下刈 平成22年（2010. 7. 12）



植栽地の下刈 平成23年（2011. 7. 10）



植栽地の下刈 平成24年（2012. 8. 5）



植栽地の下刈 平成25年（2013. 7. 15）



除伐作業 平成27年（2015. 10. 22）



見事に成長した風除けに植栽したドロノキの整枝作業実践活動 平成28年（2016. 10. 22）



2009年～2012年の4年間でハルニレ、イタヤカエデ、イヌエンジュ、ヤマグワ、ヤチダモ、アオダモ、ホオノキ、ハリギリ、ドロノキ等 総本数 1,350本の苗木を植栽しました。

協働の継続、地域起こし、高齢者のやり甲斐・生き甲斐増進に取り組み等を大切に、小規模でも強力な体制づくりに会員皆様と幹部スタッフのお知恵拝借をしながら、「かいちょう」は頑張ります。皆様のご協力をお願いします。

(第35号)

さっぽろふるさとの森づくりから「体力体調を考え、身の丈に合い相応しい活動を」

平成29年5月28日

平成21年から「自然生態系の復元と創造」をコンセプトに取り組んできました。森づくり、会員から協働のきたネットや一般参加のみなさんの結集で、今、森は小学期から中学期に入りました。植樹した木々も個性豊かに幹も枝も伸び放題でわれ先にと空間取りゲームが盛んです。

私もこの森の保護育成者として、この活力を利用しながら保護樹帯のドロノキを除く郷土樹種7種類をモザイク的に配置して、この地域の自然生態系の復元に取り組んで9年目を迎えました。去る5月28日は本年第1回目の活動で、主としてドロノキの枝おとしを行いました。

ドロノキは最初この原野に森づくりをするための保護樹として取り入れ、当初予想したとおりの早期成長をしながら植樹地を強風や寒さから守ってくれています。が、元気づぎで通路や周辺の植樹樹の上まで枝を張り広げているので整形手術を実施しました。実施し



さっぽろふるさとの森づくり

た後は適切な空間もできて、参加者による手術は大成功で拍手です。ところで、私どものこれからの活動は暑さと戦いでもありますが、この作業を終えて少し気が付きましたのは、活動に当たっての自己の体力体調がどうかであるかを自己チェックができていないか、ということが気になりました。

一例として、作業終了し解散後に身体不調となり即入院された方もありましたが、自分のため、家族のため、仲間のためにも自己管理とその日の体力体調チェックを守り、快調で安全安心活動に努めたものです。なお、不調で入院された方におかれましては、早期回復を祈念する次第です。

さて、当会員の29年現在の平均年齢は、男(20名)女(33名)の平均年齢は72・4歳であり、今の時代としていよいよこれから活動を通じながら健康維持増進の年代と思えます。しかしながら、この年代になりますと、それぞれ何もないのが不思議なほどで、病院や薬の話は切れることがありません。どうぞ参加のみなさんには「体力体調を考え、身の丈に相応しい活動を」参加を期待しています。

なお、これからも「さっぽろふるさとの森」を市民の皆様が喜んでいただけるような生態系の復元の森づくりに努めてまいります。

(第37号)